

# 合志市社協「スペースアれんが」 支援プログラム



社会福祉法人 合志市社会福祉協議会  
令和 7 年 1 月 11 日作成

## 法人理念 「やさしくて おだやかな 地域社会の創造」

### 合志市社会福祉協議会について

本会は、「合志市における社会福祉事業その他の社会福祉を目的とする事業の健全な発達及び社会福祉に関する活動の活性化により、地域福祉の推進を図る（定款第 1 条）」ことを目的とした組織です。住民主体の活動を旨とし、合志市の地域福祉の向上に努めます。

理念である「やさしくて おだやか」とは、合志市民のだれにとっても安全で、安心して暮らせる地域づくりを進めるうえでの目標として意思表示をしたものです。

「福祉社会の創造」とは専門職の職員による支援と合志市民や関係者相互の温かみのある支援活動の総和が、総合的に提供できる地域づくりを目指すことを表しています。

## 事業所理念 「地域のなかで育む療育」

### 支援方針

- 子どもたちが、自信と意欲を持ちながら育ちあうことのできるかかわりを目指します。
- 保護者が、安心して相談し、利用できる場所を目指します。
- 住みなれた場所で、やさしく、おだやかに支えあうことのできる地域づくりを目指します。

## 事業所概要

- 名称 合志市社協「スペースアれんが」
- 所在地 〒861-1102 合志市須屋 2540
- 電話 096-242-2271 (Fax 096-223-5625)
- メール renganoie@koshi-syakyo.or.jp
- HP <http://www.koshi-shakyo.or.jp>
- 運営主体 社会福祉法人 合志市社会福祉協議会
- 定員 重心児 1 日 : 5 名 重心児以外 1 日 : 10 名
- 開所日 月曜日～土曜日 (日曜日、祝日、年末年始 12/29～1/ 3 は休み)
- 開所時間 8 時 30 分～17 時 30 分
- 送迎 あり (合志市立学校及び事業所近隣の支援学校、自宅送迎は原則合志市内)

## スぺーシアれんがの発達支援

### －「人生の主人公」として主体的に生きていく力を育むために－

#### こども・障がいのある人の権利と発達保障

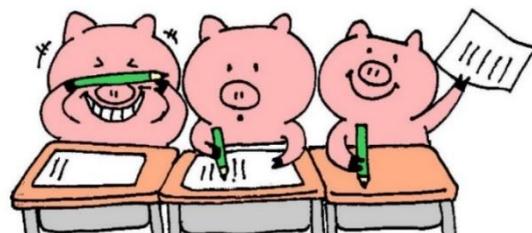
障がいのある人の人格発達の権利を徹底的に保障しようとする、「発達保障」と呼ばれる考えや取り組みがあります。戦後の障害福祉の実践者である糸賀一雄は、「この子らに世の光をではなく、この子らを世の光に」という有名な言葉を述べ、人間の尊厳を軸にした発達保障を追求しました。

すべてのこどもは発達する存在であり、発達の権利を持っています。スぺーシアれんがではこどもたちの発達の可能性に着目し、「発達保障」のほか、「こどもの権利条約」や「障害者の権利条約」に掲げられている人権保障に依拠した福祉実践を目指しています。

#### 「わくわくシート」の取り組み

こどもたちには「やってみたい」、「こうありたい」といった発達へのねがいがあります。そのねがいを実現するための取り組み、それがスぺーシアれんがの「わくわくシート」です。いろいろな経験や人とのかかわりによる感動や憧れが発達の原動力であり、その心の動きを「わくわく」と表現しました。

一人ひとりのおもいを尊重した「わくわくシート」は、個別支援とともにこどもアドボカシーの取り組みにもつながっています。「人生の主人公」としてこどもたちが自ら夢や希望を育てていくことができるように、こどもたちの「わくわく」を大切に支援を心がけています。



#### 主な活動プログラム

放課後等デイサービスの支援において、5領域（「健康・生活」、「運動・感覚」、「認知・行動」、「言語・コミュニケーション」、「人間関係・社会性」）の視点等を踏まえた総合的な療育の実践が求められています。スぺーシアれんがではこの5領域を組み合わせた活動プログラムを提供しています。

##### 1. 「健康・生活」

こどもの発達の基盤となるからだやこころ、生活づくりを支援します。健康状態の観察、リハビリテーション、生活習慣や生活リズムづくり、基本的な生活動作の練習などに取り組みます。また、医療的ケアの提供を行います。

□ランチ・おやつクッキング、園芸活動を通じた食育活動、衣服の着脱やトイレトレーニング等の身辺自立に向けた支援、歯科衛生士による歯みがき教室など

##### 2. 「運動・感覚」

日常生活に必要な動作を身につけるためのからだ、体力づくりを支援します。大きく体を動かす運動（粗大運動）や手先をつかう細かな作業（微細運動）、さまざまなからだの感覚をつかった活動や遊びの提供を行います。

□ボッチャやパラバルーン等のスポーツ・レクリエーション活動、スウィングやトランポリンを活用した感覚統合療法、季節の制作活動など

### 3. 「認知・行動」

こどもがいろいろな物事や情報を理解して、場面にふさわしい行動をとり、環境に適応できるための支援を行います。数や時間、大小や重さ、色や空間などの概念の理解、視覚支援や構造化によるインプットやアウトプットにつながる取り組みを行います。

□日付や天気、スケジュール等の掲示、タイマーやタイムテーブルの活用によるスケジュールの提示、数、大小や重さ、色などの概念理解を目的としたゲームや遊びの提供など

### 4. 「言語・コミュニケーション」

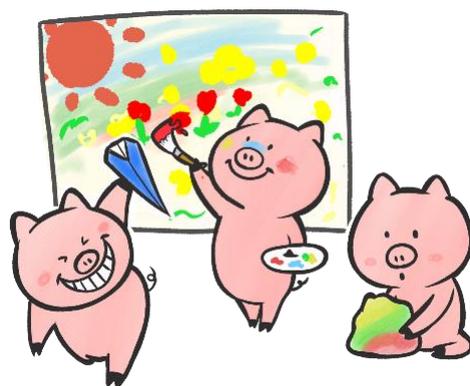
人とのかかわりや交流を楽しむためのコミュニケーションの向上を支援します。発語、言葉の理解や表現、ICT 機器を含めたコミュニケーション手段、読み書き能力などに焦点を当て、日常生活場面を活用した取り組みを行います。

□お口の体操や発音遊び、活動や遊びにおけるインリアルアプローチの実践、「読む・書き・聞く・話す」の支援、絵カードやコミュニケーション機器の活用など

### 5. 「人間関係・社会性」

人への興味関心を育み、人とのかかわりを通じた人間づくり（人格形成）を支援します。人との心の結びつきによる情緒の安定、自信や意欲、自己肯定感を育むこころの土台づくり、人とのかかわりにおける自己理解と他者理解、人間関係や仲間づくりに向けた取り組みを行います。

□遊びの支援（一人遊びからルールや役割のある遊びへの展開）、人とのかかわりを通じた自己・他者の理解とソーシャルスキルの支援、同世代のこどもたちや地域住民の方との交流の機会の提供など



## ご家族への支援 —一人ひとりと家族のしあわせのために—

子どもたちに豊かな人生を歩んでほしい。それと同じように、保護者やきょうだいにも自分の人生を大切にしたい。これがスペーシアれんがの家族支援の原点です。

「子どもの育ちに安心して向きあい、成長や変化を喜びあえる。そして、家族が家族であることのしあわせを実感できる」。そんなご家族のねがいの実現に向けて、いつでも本音でおはなしをしてもらえる存在でありたいと思っています。

- 子育て（発達や障害特性）、家庭や地域生活、福祉サービス等に関する相談支援
- 保護者の就労や家族のレスパイトの時間を保障するためのサービス提供時間外の延長支援
- 保護者やきょうだいなど、家族同士の交流の機会の提供
- 支援場面や家庭訪問を通じたペアレント・トレーニングの実施

## 移行支援 —人と人とのつながりを育み、深めていくために—

「ソーシャルインクルージョン」という言葉をご存じでしょうか？ ソーシャルインクルージョンとは、「社会的にすべての人を包み込み、誰も排除されることなく、誰もが地域社会に参加して支えあう」という理念であり、放課後等デイサービスにおいてもその実現に向けた取り組みが求められています。

地域で暮らす人と人とのつながりを育みながら、本会の理念である「やさしくておだやかな福祉社会の創造」のための取り組みを推進していきます。

- 放課後児童クラブや児童館、地域住民との交流の機会の提供（合志市社会福祉協議会の他部署との協働による取り組み）
- 進路等に関するご本人、ご家族、移行先への相談支援
- 入学や進学、卒業等のライフステージの変化に伴う関係機関との連絡調整
- 利用契約終了後のアフターフォロー



## 地域支援・地域連携 – 支援の輪を広げていくために –

地域のなかには子どもたちの育ちや家庭・地域生活を応援してくれる人が存在しています。学校（教育）や病院（医療）などがその一例ですが、それら関係機関の方たちと協力、連携することによって支援の輪を広げ、新たなチームワークを生み出していくことが大切です。

子どもやご家族を真ん中に、それぞれの関係機関が手をとりあって一つのチームとなれるよう、支援者同士のコラボレーションがスペーシアれんがの使命の一つであると考えています。

- 学校、医療機関等との連絡調整や情報共有
- サービス担当者会議の出席、わくわくシートに関する会議やケース会議等の開催
- 菊池圏域地域自立支援協議会（子ども部会）に関する活動への参加
- その他熊本県子ども総合療育センター、発達障害者支援センター、児童発達支援センター、市町の関連部門、障害児相談支援事業所、障害福祉サービス事業所等の関係機関との連携

## 質の向上に資する取り組み – 学び、語り、育ちあう職員集団を目指して –

「一人ひとりにていねいに向き合い、子どもたちの発達を応援していきたい」。これが私たちスペーシアれんがの職員のねがいです。子どもたちやご家族のねがい、そして私たちのねがいが融合して「みんなのねがい」となり、それが実現していく過程に職員集団として向き合いたいと考えています。

日々学びあい、語りあうといった姿勢を大切に、一人ひとりの職員が個性、創造性を発揮させながら職員集団の力につなげていけるよう、みんなで力を合わせていきます。

- 職員研修体系の構築（内部研修の実施や外部研修の受講等）
- PDCA サイクルに基づく支援ミーティングの実施
- 児童発達支援センターによるスーパーバイズ・コンサルテーションの活用（主に機能訓練）
- 第三者による外部評価の受審（令和4年に受審済み）



合志市社協キャラクター「あいまる」

## 主な行事（令和6年度）

4月	お花見
5月	
6月	
7月	夏休み外出行事、キッズクラブ(学童保育)との交流企画、 ふれあい館デイ(高齢者デイサービス)との交流夏祭り
8月	夏休み外出行事、キッズクラブとの交流企画、 スペーシアれんが夏祭り、ボランティアさんとの交流企画
9月	ふれあい館デイとの交流(敬老の日のお祝い)
10月	家族交流会(いもあん団子汁会)、ハロウィンパーティ
11月	くまもと障がい者芸術展出品、ふれあいフェスティバル(合志市社協行事)
12月	クリスマスパーティ、スペーシアれんが忘年会
1月	初詣、鏡開きぜんざい会
2月	家族交流会(ポッチャ大会)
3月	れんがのなかまたち展(芸術展)、卒業生を送る会



夏休み外出(プラネタリウム)



キッズクラブとの交流



れんがのなかまたち展



家族交流会(芋あんだんご汁会)